



Micro7

OWNER'S MANUAL



PJB 製品日本総代理店



〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山 711-1
TEL:0561-72-9801 FAX:0561-72-9804 www.jes1988.com

まずお読み下さい

- ・Micro7 をご購入頂きありがとうございます。
- ・ご使用前に、このマニュアルをよくお読み下さい。
- ・開梱後、本体にダメージなどがないかご確認ください。もしダメージなどが認められる場合、お買い上げの販売店に報告してください。
- ・外箱などの梱包材は保存してください。

警告

下記の警告や注意事項に反するご使用で破損や問題が生じた場合は、
保証の対象になりませんので、ご注意ください。



誤操作や誤使用により感電する恐れがあります。

ヒーターやストーブなど、熱源の近くに置かないでください。
この取扱説明書で指定された電源以外での使用は避けてください。
安全のために、長時間ご使用にならない時は、コンセントから電源コードを抜いて下さい。



使用上の注意事項。

以下の場合にはご使用をおやめください：

1. 目に見える損傷がある場合。
 2. 飲み物、雨などの湿気にさらされた場合。
 3. 電源ケーブル、スピーカーケーブルに損傷がある場合。
- これらの症状が認められた際にはリペアショップにご相談ください。

MICRO7 / 概要

フィルジョーンズベースはベーシストの厳しい要求に応えるアンプを製作してきました。それまでのアンプとは違う、ベース本来の音を伝えるアンプこそが PJB アンプの本質です。

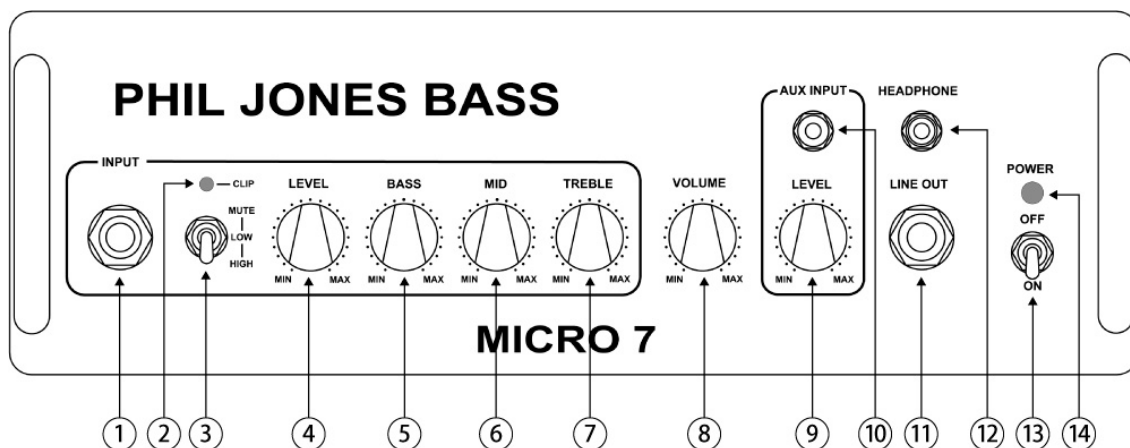
Micro7 は、これまで以上に効率的な製作方法を追求した結果、今までで最もコストパフォーマンスの高いアンプになりました。しかし PJB アンプとして譲れない部分、トーンに関しては一切の妥協はありません。

どこにでも持ち運べるコンパクトさを持ち合わせています。

フィルジョーンズ独自開発の 7 インチスピーカーは、アンプのパワーをフルに使い切る超高効率を誇ります。これに 2.5 インチのツイーターを組み合わせた構成。PA システムに長年使ってきた信頼性の高いツイーターです。周波数特性は 36Hz から 20KHz と大変ワイドレンジで、ベースだけでなく、あらゆる楽器に最適です。

回路はフルデジタル構成で、100V から 260V までの電源に自動対応します。デジタル回路は、アナログ回路と比べ効率が良く、回路を劣化させる熱の発生も低く抑えられますので、アンプの耐久性が高まります。

回路はシンプルですが、品質はハイレベルです。新デザインのフロントのグリルはパンチングメタルを採用し、このアンプの抜けのよい音質をそのまま伝えるのに役立っています。設計も品質も PJB プロクオリティに変わりはありません。Micro7 は、この価格帯では考えられない飛び抜けた音質と信頼性を持ったアンプです。



パネル解説

1.インプット・ジャック(1/4"モノラル)

パッシブ、アクティブどちらにも対応するハイインピーダンス仕様の入力ジャックです。

2.クリップ／ミュート・インジケータ

入力が大きすぎる場合、このライトが赤く点灯します。また入力感度切替を Mute にすると緑色に点灯します。

3.入力感度切替スイッチ

MUTE: 入力をミュートします。

LOW: アクティブベースなどプリアンプ経由の信号用

HIGH: パッシブベースなど、ハイインピーダンス・シグナル用

4.インプット・レベル

入力ゲインを調整します。もっとも大きな音の瞬間にクリップインジケータが時々点灯するぐらいが適切なゲインです。

5.ベース EQ

低音域の調整をします。ベースの基音となる周波数帯域をコントロールします。

6.ミドル EQ

中音域の調整をします。楽器のトーンを形成する帯域です。一般的にベースらしい音を作るなら、ブーストよりカットの方が好ましいでしょう。ブーストはソロなどで強調したい時に有効です。

7.トレブル EQ

高音域の調整をします。音質がより鮮明になります。スラップにはブーストが、レゲエにはカットが有効でしょう。ブーストをしていくと、楽器やケーブルなど環境によって、ホワイトノイズが乗ってくる事もあります。

8. マスターボリューム・コントロール

入力インプットおよび AUX インプット全体の音量をコントロールします。

9.AUX インプット・ボリューム・コントロール

AUX 入力の音量を調節します。

10. AUX 入力用ジャック(3.5mm ステレオミニ)

ドラムマシンやオーディオプレイヤーなどを接続できる、ステレオミニジャックです。

11. ラインアウトジャック(1/4" モノラル)

レコーディングスタジオ並のクオリティを持つ、プリアンプシグナルを出力できます。レコーディングや、他のベースアンプにつなぐ時に使用します。

スピーカーの拡張には、同じく PJB のパワースピーカー、PB-300や PB-100をお勧めします。

12. ヘッドホンジャック(3.5mm ステレオミニ)

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンが接続されている時は、スピーカーから音が出ません。

13. パワースイッチ

メインの電源スイッチです。長時間ご使用にならない時は電源プラグを壁のコンセントから抜いて下さい。

14. パワーLED

電源が入ると青く点灯します。

使用に関して

ご利用の前にボリュームを下げて下さい。

楽器を接続する時は、かならずボリュームをゼロにして下さい。

アンプの設置場所

スピーカーを、演奏する部屋のどこに設置するかが、音色を決める上で非常に重要になります。壁に近ければ低音域が増幅されるし、コーナーに設置すればさらにその傾向は強まります。

演奏する部屋の広さも低音の深さを決定する面で非常に大きな影響を与えます。リスナーから遠ければ低音は弱く聞こえます。これはアンプの問題ではなく、物理的な問題なのです。ディープでパワフルなベース音を出すには、アンプを床に置き、背面が部屋のコーナーに向くよう設置するといいいでしょう。

Micro7 の特性について

Micro7 は通常のアナログアンプと違い、プリアンプとパワーアンプを担当する2つのデジタルプロセッサーによって駆動されています。パワフルかつクリアなベースサウンドは、このデジタルプロセッサーのおかげです。また3バンドイコライザーも全て、デジタル処理で行われるため、非常にリニアな調整が可能です。デジタル処理のため、コントロールを急に回した時などに、一瞬音色の変化に遅れが生じます。これはデジタルアンプ特有の現象であり、故障ではありません。

Micro7 の運搬と保管

保管は、湿気が少なくできれば室温に近い場所で行ってください。-20 度以下、または 40 度以上の場所には放置しないでください。濡れてしまった場合は決して電源を入れないでください。

長期間ご使用にならない時は必ずコンセントから電源コードを抜いてください。

Micro7 仕様

アンプ部

38W, D Class Digital Amplifier with DSP(Digital Signal Processing) Power Supply

周波数特性

36Hz – 22KHz

SN比

Better than 84 dB (EQ off, Volume on Full.)

インピーダンス

High Input: $>500K\Omega / 22pF$

Low Input: $>30K\Omega / 22pF$

Pre Amp Line Out: $< 2k\Omega$

入出力レベル

High Input: 30mV–2V

Low Input: 50mV–1.5V

Pre Amp Out: 1.2V

スピーカー

1 x 7 inch PJB Ferrite Speaker + 1 x PJB 2.5 inch Tweeter

Crossover Frequency: 4KHz@6dB/Octave

サイズ: 285 (W) x 249 (H) x 246(D)mm

重量: 6.8kg

付属品: ACコード

PJB製品の最新情報は
www.pbjjapan.com